

＜平成22年度事業報告＞

(1) 人材育成事業

①情報通信人材研修事業

(一般社) 情報サービス産業協会の助成金に基づく研修 7コース実施

- ・新入社員のビジネス文書セミナー① 開催日：7月 7日 参加者：11名
- ・新入社員のビジネス文書セミナー② 開催日：7月 14日 参加者：13名
- ・SQL入門① 開催日：7月22日～23日 参加者：15名
- ・SQL入門② 開催日：7月28日～29日 参加者：12名
- ・プロジェクト管理（入門編） 開催日：9月 9日（木） 参加者 17名
- ・システム開発のためのテスト技法 開催日：9月16日～17日 参加者 8名
- ・データベース設計 開催日：10月14日～15日 参加者 11名

②埼玉大学との連携強化

- ・IT 関連講座開設支援「職業と情報」
- ・実務教育：非常勤講師として会員企業経営者5名派遣

③eラーニングの活用

- ・日本ソフトウェア協会と共催 参加企業： 8 社

(2) 地域情報化推進事業

①「彩の国ビジネスアリーナ2011」

埼玉県の産業振興を図るため、(財) 埼玉県中小企業振興公社が中心となり、埼玉県・地元金融機関等との共催により「ビジネスイベント」を開催

＜彩の国ビジネスアリーナ2011開催事業実績＞

1. 開催日時 平成23年1月26日(水) 10:00～18:00、27日(木) 10:00～17:00
【前回平成22年1月27日(水) 10:00～18:00、28日(木) 10:00～17:00】
2. 開催場所 さいたまスーパーアリーナ
埼玉県さいたま市中央区新都心8番地
3. 主催
(財) 埼玉県中小企業振興公社、(社) 埼玉県情報サービス産業協会、(株) 埼玉りそな銀行
(株) 武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫、飯能信用金庫、川口信用金庫、青木信用金庫
4. 共催
(財) 埼玉りそな産業協力財団、(財) 全国中小企業取引振興協会、
(財) 茨城県中小企業振興公社、(財) 栃木県産業振興センター、
(財) 群馬県産業支援機構、(財) 千葉県産業振興センター、
(財) 長野県中小企業振興センター、(財) 東京都中小企業振興公社
5. 来場者数 14,898人(1日目7,917人、2日目6,981人)
【前回14,807人(1日目7,880人、2日目6,927人)】

6 実施概要

(1) 技術・製品展示会

出展者数 564企業・団体、640小間 【前回588企業・団体、655小間】

(2) 広域商談会

出展者が招へい発注企業と具体的な発注案件に基づいた商談を面談形式で行った。

ア 日 時 平成23年1月26日(水) 11:30~16:00

イ 参加者数 発注側企業25社、受注側企業104社

【前回21社(1日目11社、2日目10社)、93社】

ウ 商談件数 252件

【前回219件(1日目117件、2日目102件) 成立 6件 金額480万円】

(3) 講演会

次世代自動車の取組や野球人生で夢を勝ち取った体験談など5本の講演会を開催した。

日 時 平成23年1月26日(水)

① 「次世代自動車への取り組みとEV・PHEV実証実験について」

(株)本田技術研究所 常務執行役員 新井 康久 氏 受講者：216名

② 「夢は必ず実現できる！」

元西武ライオンズ監督 NHK野球解説者 伊東勤氏 受講者：187名

③ 「次世代自動車に関して産学官連携に期待すること」

(株)カルソニックカンセイ 技術顧問 山縣 秀司 氏 受講者：94名

ボッシュ(株)開発本部 先行技術開発G シニアエンジニア 古河 宏一 氏

④ 「次世代自動車に関する今後の取組について」

早稲田大学 教授 勝田 政文 氏

埼玉大学 理事・副学長 川橋 正昭 受講者：94名

⑤ 「下請代金支払遅延防止法及び下請中小企業振興法について」

全国中小企業取引振興協会 受講者：120名

②第15回「ホームページコンテスト2010」

当協会のイベントとして知名度も向上し、今年度も県内外より広く応募者があり平成23年1月20日多くの来賓を迎えて表彰式が行われ、県知事賞を始めさいたま市長賞・総務省関東総合通信局長賞・経済産業省関東経済局長賞等が授与された。

・公募期間 : 平成22年5月1日~10月15日

・表彰式 : 平成23年1月20日

・最終審査 : 11月25日 応募総数: 79作品・参加者160名

＜ホームページコンテスト2010入賞者＞

賞	作品タイトル	氏名	人数	学校名・企業名 (グループ名)
埼玉県知事賞	中学生女子の！釣り講座	山根 春香	1	幸手市立幸手中学校
さいたま市長賞	動く絵 UGOKY	大村 暢	1	会社員
総務省 関東総合通信局長賞	うちの社員の育児事情	田沼 信行 他	8	(株)フジミック埼玉
経済産業省 関東経済産業局長賞	スクロールゲーム制作記録	小山 晴也	1	埼玉県立蕨高等学校
小・中学生の部・最優秀賞	水～WATER～	栗城 宏一朗	1	松伏町立松伏第二中学校
小・中学生の部・優秀賞	猫について	伊藤 美彩都	1	幸手市立幸手中学校
高校・大学・専門学校の部 最優秀賞	スクロールゲーム制作記録	小山 晴也	1	埼玉県立蕨高等学校
高校・大学・専門学校の部 優秀賞	私のふるさと岩槻	吉岡 将仁	1	共栄大学
一般の部・最優秀賞	みんなで元気に朝ごはん！	吉沢 雅子	1	主婦
一般の部・優秀賞	古都散走 (石仏探訪)	山谷 幸司	1	自営/小売業
シニアの部・最優秀賞	日本の感性	大塚 徹	1	会社役員
シニアの部・優秀賞	「風景の変化を愉しむ」	伊達 美徳	1	
協会会員の部・最優秀賞	折り紙の折り方	鈴木 雅博 他	5	蓼科情報株式会社(チームB)
協会会員の部・優秀賞	うちの社員の育児事情	田沼 信行 他	8	(株)フジミック埼玉
富士通賞	中学生女子の！釣り講座	山根 春香	1	幸手市立幸手中学校
麒麟ビール賞	神秘的な沼公園-埼玉別所公園	孫日昌	1	中央情報専門学校
FM NACK5賞	★埼玉県の偉人★	佐藤 麻美	1	幸手市立幸手中学校
埼玉新聞社賞	日本の感性	大塚 徹	1	会社役員
日刊工業新聞社賞	折り紙の折り方	鈴木 雅博 他	5	蓼科情報株式会社(チームB)
サンケイリビング新聞社賞	ハートフル桶西水族館	部長 北澤 凱	18	県立桶川西高等学校科学部
大宮アルディージャ賞	大宮ラーメン奇行	岡本 浩明 他	4	AGS 株式会社(noodle 4)

③埼玉県立工業学校ホームページ・プログラムコンテスト大会 9月開催 後援協賛

④「セミナー」「ビジネス交流会」の開催

- ・タイムリーなテーマを選定し、新ビジネス展開・会員相互のビジネス情報の交流を推進する
- ・商工会議所などの経済団体と連携し、県内企業のIT利活用促進を図る

＜経営者セミナー＞

イ. 開催日：平成22年7月23日 場所：大宮ソニックシティ807号室 参加者：22名
講演：「人材確保推進事業一雇用情勢の現状について」

講師：大宮職業安定所所長 槇島 茂 氏

ロ. (社)埼玉県経営者協会と共催

開催日：平成23年3月2日 場所：大宮ソニックシティ市民ホール 参加者：78名

講演1：「クラウド・コンピューティングとは何か、

そしてクラウド・コンピューティングがもたらす変革とは」

講師：富士通株式会社 クラウドビジネス企画本部本部長 阪井 洋之 氏

講演2：「クラウド/データセンターで実現するコスト削減・事業継承・グリーン経営」

講師：AGS株式会社営業統括部部長 中西 弘幸 氏

＜ビジネスセミナー＞

イ. 開催日：平成22年6月14日 場所：大宮ソニックシティ604号室 参加者35名

講演：「地域ICT利活用広域連携事業について」

講師：埼玉県総務部情報企画課 課長 林 秀平 氏

ロ. 開催日：平成22年9月22日 場所：大宮ソニックシティ604号室 参加者32名

講演：Androidの可能性とその活用方法

「Androidが変える組み込みシステム・クラウドサービス・

Android技術者育成について」

講師：一般社団OESFワーキンググループ・(株)ウェルインテクノロジー 古賀大吉 氏

(株)ナノコレクト 代表取締役 木島 貴志 氏

⑤＜平成22年度地域新成長産業創出促進事業（経済産業省関東経済産業局事業）＞

—広域関東地域イノベーションパートナーシップ推進事業—

本事業は、地域特性に応じた新成長産業群を創出する視点や差別化された情報群を新たな価値対象と捉える視点を踏まえ、中小企業等ITユーザーのIT経営の実践、中小ベンダーの競争力強化を支援するとともに、両者のビジネスマッチング（IT商取引の地産地消）の促進及び、それらを下支えするための地方自治体、支援機関等の連携による地域のサポート体制整備・強化に向けた環境整備をすることを目的に実施する経済産業省の助成事業である。

かくして、当協会事業としては「埼玉県において立ち上がりつつある首都圏近郊農業ビジネスに対し、IT利活用を推進することによる既存農業法人の競争力強化と新規就農者の参入障壁低減、地域のITベンダーの連携強化を図るとともに、両者のビジネスマッチングの促進と県内地域のサポート体制の整備・強化にむけた環境整備を行うこと」を目的に実施。

イ、事業内容 (1)中小企業等ITユーザ向け事業農業IT研修会(農業法人向け)

・第1回 日時：平成22年8月23日(月)13:45~16:30

場所：大宮ソニックシティ604号室

テーマ：「これからの農業とIT利活用について」

講師：吉田健一氏 埼玉県農林部農業支援課担当主査

講師：土橋康夫氏 ITコーディネータ(専門家)

講師：山田和豊氏 (社)埼玉県情報サービス産業協会地域イノベーション分科会長

参加者・SISA協会員：6社12名・一般参加者 13社15名 計27名

・第2回 日時：平成22年10月15日(金)13:45~16:30

場所：大宮ソニックシティ601号室

テーマ：「これからの農業とIT利活用」

講師：清水勉氏 有限会社 エイ・ケイ・システム 部長代理

講師：田沼信行氏 農業フィールドワーク分析分科会

講師：下坪良一氏 農業ITアプリケーション開発分科会

参加者：SISA協会員：5社12名・一般参加者：12社15名 計27名

ロ、中小ITベンダ向け事業

農業IT研修会(ITベンダ向け)

・第1回 日時：平成22年7月20日(火)13:45~16:30

場所：大宮ソニックシティ604号室

テーマ：「これからの農業とIT利活用」

講師：佐藤深幸氏 経済産業省 関東経済産業局 地域経済部情報政策課 課長補佐

講師：河野律子氏 中小企業診断士(専門家)

参加者：SISA協会員：25社31名・一般参加者10社11名 計42名

・第2回 日時：平成22年11月15日(金)13:45~16:35

場所：新都心ビジネス交流プラザ 4F B会議室

テーマ：「これからの農業とIT利活用」

講師：河野律子氏 中小企業診断士(専門家)

講師：田沼信行氏 農業フィールドワーク分析分科会

講師：下坪良一氏 農業ITアプリケーション開発分科会

参加者：SISA協会員13社20名・一般参加者 8社10名 計30名

ハ、中小企業等ITユーザと中小ITベンダのビジネスマッチング農業IT交流会

・第1回 日 時：平成22年9月14日(火)13:45~16:30

場 所：大宮ソニックシティ601号室

テーマ：「農業の現状と課題と情報技術活用の方向性」

コーディネータ：河野律子 中小企業診断士(専門家)

参加者：SISA協会員15社21名 一般参加者11社13名 計34名

・第2回 日時：平成22年12月17日(金) 13:45～16:50

場所：大宮ソニックシティ905号室

テーマ：「これからの農業とIT利活用」

コーディネータ：河野律子氏 中小企業診断士（専門家）

講師：吉田 健一氏 埼玉県農林部農業支援課担当主査

参加者SISA協会員：11社18名 一般参加者10社13名 計31名

二、成果発表会

「農業とIT利活用」成果発表会

日時：平成23年3月7日(月) 13:30～17:10

場所：新都心ビジネス交流プラザA会議室

テーマ：「農業とIT利活用」

司会：小林誠氏 株式会社ケイツー・ネットワークス 代表取締役

講師：斎藤修氏 千葉大学大学院教授（専門家）

報告者：山田和豊氏 （社）埼玉県情報サービス産業協会・
地域イノベーション分科会会長

パネラー：斎藤修氏 千葉大学大学院教授（専門家）

：永堀吉彦氏 農業生産法人（株）ナガホリ 代表

：本間利明氏 埼玉県農林総合研究センター

：山田和豊氏

コーディネータ：河野律子氏 中小企業診断士（専門家）

参加者SISA協会員：13社28名 一般参加者 40社43名 計71名

ホ、地域におけるサポートサイドの体制整備・強化

本事業における地域ワーキンググループは、埼玉県内の自治体やITユーザ、ITベンダ、支援機関等をメンバーとし、本事業の企画・検討、実施、評価検証等を行った。専門家（河野律子 中小企業診断士）、農業生産法人（株）ナガホリ、埼玉県産業支援課、埼玉県農業支援課）、ITベンダにて地域WGを構成。本事業を適切に実施すべく、事業の監視、進捗管理、必要に応じ事業詳細の修正等を行い平成22年度広域関東地域イノベーションパートナーシップ推進事業を実施した。

⑥「新産業支援機関」に参画

埼玉県・さいたま市の創業・ベンチャー支援事業の支援機関として、IT業界に起業・進出したい人に対する相談・技術支援などを行う。

⑦「ITなんでも相談室」の設置

政府・県の施策に協力して、中小事業者のIT投資・情報化等についての相談窓口を事務局に設置。 専用電話 048-660-1788

(3) 調査研究事業

①地方公共団体情報化施策動向に関するアンケート調査

県下の地方公共団体を対象に情報化動向を把握し、地域情報化戦略立案や情報化計画策定等情報提供と地域情報サービス産業の技術力向上を目的として実施。

- ・平成23年2月 対象 県内64市町村
- ・調査報告平成23年4月発行「SAI-PRESS68号」に掲載

②県内企業アンケート調査

県内企業を対象に情報化動向及び、情報化の及ぼす労働状況を把握し、これらの情報を提供することにより、地域情報サービス産業の技術力向上を目的として実施。

- ・「彩の国ビジネスアリーナ2011」開催時1月に出席企業を調査
- ・調査報告平成23年4月発行「SAI-PRESS68号」に掲載

③プロジェクト管理技術・開発方法・先進ITの研究

- ・部会月1回 年12回開催
- ・研修合宿：平成22年10月22・23日 仙台ソフトウェアセンターにて参加者7名
- ・活動報告書作成 SAI-PRESS64・65・66・67号に掲載

(4) 啓蒙・普及事業

①広報誌「SAI-PRESS」の定期発行：年4回

協会の動向を外部にアピールし、協会の知名度をより一層向上させる為、県内唯一の情報サービス産業公益法人として積極的な情報発信を行う。

- ・SAI-PRESS 64号（4月）、65号（7月）、66号（10月）67号（1月）発行

②「SAI-PRESS 速報」の発信

協会に送られた「情報・ニュース・案内」などを会員にメールにて適宜送達。

③協会ホームページの運営について

適宜情報内容の更新を行う。

④県立工業高校ソフトウェア・ホームページコンテスト大会を後援

全国大会出場学校選抜大会であり、人的・財政的支援を行う。

(5) 産・学・官交流事業

①情報サービス産業振興のために、埼玉県をはじめ経済産業省・総務省等及びJISA・ANIA等関係諸団体・埼玉大学をはじめとする県内大学、地域共同研究センター、産学官交流協議会等への参画、また国際交流等を行う。

- ・「広域関東圏産業クラスター推進ネットワーク」に参画
- ・「埼玉県GIS普及推進研究会」への参画
- ・「平成22年度ANIA総会」6月17日 東京にて開催 参加者6名
- ・「世界情報技術産業会議（WCIT）2011」
5月25～27日 オランダ・アムステルダムにて開催 参加者12名
- ・ANIA韓国济州島知識振興院業務締結式及び（社）韓国テクノマート訪問
8月31日～9月4日 参加者5名

- ・第31回全情連（ANIA）ひろしま大会：11月11日～13日開催 参加者15名
- ・（社）韓国テクノマート 金会長他 来協 平成23年1月20日 賀詞交歓会に参加
- ・東京・神奈川・千葉及び山梨など近隣諸県の情報サービス産業協会との連携を強化し、幹部会・交流会・研修などの行事を推進
- ・総務省関東総合通信局「街作りCMコンテスト」委員として参画

②新年賀詞交歓会：平成23年1月20日 パレスホテル大宮にて開催

諸官庁・諸団体関係者を招くと共に、協会会員の交流、拡大を図る 参加者145名
同日、第15回「ホームページコンテスト2010」の表彰式を行う。

(6) 福利厚生事業

①協会会員の福利厚生事業

- ・第15回ボウリング大会：平成23年2月18日
浦和スプリングレーンズにて開催 参加者72名

②チャリティー事業

- ・第15回チャリティーゴルフコンペ：平成22年9月8日
高麗川カントリー倶楽部にて開催 参加者31名

(7) 人材確保・共同求人事業

①＜平成22年度人材確保推進事業（雇用能力開発機構事業）＞

IT業界は優れた技術者の確保と人材育成は経営基盤の根幹を成すものでありますが、優秀な人材確保は現状の雇用情勢でもなかなか難しい環境にあります。ゆえに、埼玉県の認定を受け雇用能力開発機構の助成事業として、少子高齢化社会を展望し、より魅力ある業界と成るべく所定労働時間の改善・年休取得の向上・ライフワークバランス等の諸施策を積極的に推進し、より魅力ある職場作りを目指して、本事業を3ヵ年計画の第1年度として取り組みました。

本年度は第1年度として

イ、雇用管理改善に資するため、ポスターを作成し会員事業所に配布することにより、意識啓発を図り、当該取組の促進を図った。

内 容：休暇取得に関するポスター作成

配布時期：6・10月作成配布 作成部数：各500部

ロ、会員事業主と大学進路担当者との意見交換を行い採用活動の一助とした。

実施日：22年10月5日 参加者53名（会員企業19社32名・学校19校21名）

実施会場：大宮サンパレス

ハ、会員事業所の事業主、人事担当者を対象にセミナーを開催し会員事業所の採用活動の改善に資した。

実施日：1月20日 会場：パレスホテル大宮

テーマ：労働関係セミナー 対象者事業主・人事担当者等 講師：阿部真弓

二、当協会のイメージアップ・知名度UPのため開催

イベント名：「彩の国ビジネスアリーナ2011」

実施日：平成23年1月26日～27日 2日間

ホ、会報「SAI-PRESS」の発行

発行回数：全3回（7月・10月・1月）

掲載内容：各種事業の取組状況及び推進事業報告・各種調査結果の概要等

作成部数：1,200部

ハ、学生向け業界就職に対する相談会の実施

実施日：2月21日 13時～16時

会場：大宮ソニックシティ 対象者：学生400名

ト、雇用ガイドブックを作成し、協会および会員の事業を広く周知を行い採用活動の一助とした。

実施月：1月 作成部数：1,500部

その他 研修事業など人材育成確保推進の諸事業を推進。

②共同求人事業

- ・学校・企業求人関係懇談会：平成22年10月5日開催 参加者：学校21名 会員32名
- ・共同求人5・2月開催 合同就職面接会（さいたま市）
- ・ヤングキャリアセンター埼玉と共催にて平成22年9月29日「求職者と企業との仕事出会いフェア」開催
- ・会員企業求人案内：平成22年4月「SAI-PRESS」に掲載
- ・京都地区大学訪問：平成22年12月7～8日 参加者：7名

③インターシップの受け入れ

- ・大学、専門学校、県内高等学校から職場実習受け入れる。

(8) 会員増強運動

より多くの情報サービス企業を結集し、地域情報サービス産業団体として、活動基盤の確立を図るとともに、協会活動のより充実を図る

目標：10社 実績：正会員 2社 賛助会員 1社 計 3社

3. おわりに

今年度も、会員皆様のご協力・ご支援により事業計画を着実に推進し出来ましたこと関係各位に厚く御礼申し上げます。これにて、平成22年度事業報告を終わります。

以上